

【士幌町】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとする ICT 環境によって実現を目指す学びの姿

世界的なデジタル化、オンライン化が普及していく中で、学校も ICT を活用し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な実現が目指されている。

第1期 GIGA スクール構想にて整備した1人1台端末、周辺機器、校内ネットワーク環境に続き、第2期に向け端末を更新。新たな端末を用いて、児童生徒が個々の持つ能力を最大限引き出し、持続可能な社会の担い手となれるような能力を育成していく。

2. GIGA 第1期の総括

GIGA 第1期の取り組みとして、令和2年度に町内小中学校の ICT 端末の購入を実施。校内ネットワーク環境についても整備し、ICT 端末を活用した教育の基盤を構築した。

電子黒板等の周辺機器やデジタルドリルやデジタル採点システムの導入、クラウド型校務支援システムの導入、生徒用は元より、教師用デジタル教科書についても一部導入し、ICT を活用した教育に資する環境を整備してきた。

令和4年度から ICT 支援員を1名中学校に配置し、町内3小学校へも定期的な派遣を実施し、町内小中学校の ICT 機器活用サポートを実施。

また、令和6年度に主要小中学校にてネットワークアセスメントを実施し、ネットワーク環境の課題把握に努めた。アセスメントの結果から、ネットワーク環境に問題ないことがわかり、日常のネットワーク接続の不安定さ等については端末のスペックが低いことから生じていることが推測されたため、令和6年度中に端末を更新し、令和7年度からの第2期 GIGA スクール構想に備えた。

3. 1人1台端末の利活用方策

GIGA 第1期にて、学校での教育活動を始め、児童生徒が自宅学習でも ICT 端末を利用することが日常的となっており、今後も ICT 機器を活用した学習が必要不可欠であることが

ら、令和6年度中に性能の良い端末に更新し、更なる機器の利活用を促進する。

現在、学習者用及び指導者用のデジタル教科書の導入を進めており、他にデジタルドリルやデジタル採点システム、クラウド型の校務支援システムを導入するなど、児童生徒の学習環境はもとより、教員の勤務環境においても ICT 化を推進している。

今後、更新端末に適した大画面モニター及び投影機器を必要教室に整備する。

また、ICT 支援員を継続して配置することで、町内小中学校における ICT 機器活用のサポート体制を構築していく。

不登校児童生徒などに対し、オンラインでの学びが可能となるよう学校と協議し、実施していく。

ICT を活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現に向け、学校と連携を図りながら学び方、関わり方について研究を重ね合う。